

茨城県稲作共進会・県そば共進会

稲作 最優秀 レイクフォー (行方市)

そば 最優秀 茂田正治さん (結城市)

【いばらき】茨城県農林振興公社は19日、「第59回茨城県稲作共進会・第26回茨城県そば共進会」の表彰式を水戸市の水戸京成ホテルで開いた。米需給の動向に対応し、県産米の安定生産や品質向上に取り組み稲作農家・優良経営体、「常陸秋そば」の生産振興のため、営農改善などに実績を上げている農家・集団の努力をたたえた。

稲作共進会では、行方市玉造甲の(株)레이크フォーが、最優秀賞(農林水産大臣賞)に輝いた。優秀賞は山田一則さん(常陸太田市谷河原町)県知

事賞)、高野洋一さん(水戸市栗崎町)県議会議長市西代(同)が受賞し

平成28年2月23日

た。そば共進会では、結城市古宿新田の茂田正治さんが、最優秀賞(県知事賞)となった。優秀賞は

柳田操さん(土浦市大畑)県議会議長賞)、倉持清一郎さん(境町若林)JA県中央会長賞)が受賞した。레이크フォー

は、水稻栽培面積30・6畝、水菜など施設野菜1・35畝の他、作業受託(150畝)もするなど、経営規模を拡大している。茂田さんは、常陸秋そばを4・9畝で栽培し、養豚一貫経営をする複合農家。消費者との「そば会」を開くなど、地域振興にも貢献している。

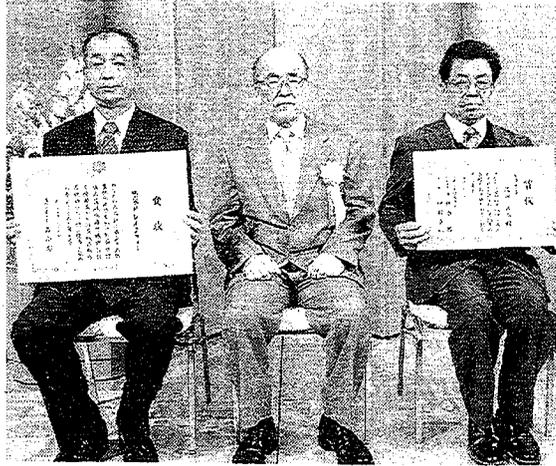
레이크フォー代表の橋本栄一さんと茂田さんが経営の概況を紹介。橋本さんは代表謝辞で「さらに創意工夫を重ね、安全・安心な農作物の生産振興、農業振興に貢献していきたい」と語った。

審査長を務めた県農業総合センター農業研究所の泉澤直所長は「生産振興、消費拡大への取り組みに深く敬意を表する。今後とも地域のリーダーとして活躍してほしい」と述べた。

丸山誠志(大洗町)、園部勇一(笠間市)、森川良男(稲敷市)▽そば 海老根信夫(常陸太田市)

稲作、そば共進会を表彰

稲作とそばの共進会で最優秀を受賞したレイクフォーの橋本栄一社長（左）と茂田正治さん。中央は中村直紀、農林振興公社理事長。水戸市三の丸



農林振興公社

農林振興公社は、

本年度の稲作、そば共進会の表彰を決め、19日、水戸市内のホテルで表彰式を開いた。最優秀賞には、稲作がコメの受託栽培などを行う行方市のレイクフォー（橋本栄一社長）、そばは結城市の茂田正治さんが選ばれた。

レイクフォーは水稲

栽培面積30・6畝。コシヒカリやあきたこまち、ふくまる、ゆめひたちの4品種を栽培。農業生産工程管理（GAP）の取得や150畝の栽培作業を受託するなど経営規模の拡大や安全安心の取り組みを実践している。

茂田さんは常陸秋そ

ば4・9畝を栽培。機械化による作業の効率化やコスト削減、インターネット販売のほか、地域の祭りではそば会を開催するなど地域振興や消費拡大の取り組みが評価された。同公社の中村直紀理事長は「各受賞者は創意工夫を凝らし模範となる実績を収めた。今後もコメやソバの品質向上に努めてほしい」と講評した。（松崎亘）

平成28年2月20日

いばらき新聞